

学年	3学年	教科	総合	指導者	鈴木 崇弘
単元名or 題材名	通学路で自然災害が起こりそうな箇所を調べ、校長先生に発表しよう			時数	5/6
本時のねらい	通学路の自然災害が起こりそうな箇所について、班で話し合い精査し焦点化する活動を通して、わかりやすくまとめることができる。				
学習指導要領における領域・内容	防災のための安全なまちづくりとその取り組み ・根拠を基に情報の整理と焦点化をすることができる。				
本時の評価規準 (評価の観点) <評価方法>	○自然災害が起こりそうな箇所について、わかりやすくまとめることができる。 (評価の観点)知識及び技能 学びに向かう人間性等 <評価方法>・活動観察 ・ロイロノート ・振り返りシート				
展開	学習活動	指導と手立て			
	導入	1. 前時を確認する。	・前時の内容を確認したところでめあてを位置づける。		
		【めあて】通学路で自然災害が起こりそうなところをまとめよう。			
	展開	2. 本時の流れを説明する。	【個】理解しにくい生徒には、本時の流れを配布することで見通しをもつことができるようにする。(ロイロノート)		
		3. 個人で調べた通学路の自然災害が起こりそうな箇所をグループで発表する。(班)	・個人で調べた通学路の自然災害が起きそうな箇所について、班内で発表させる。 (生徒の考えで予測される自然災害) <地震・津波・洪水・土砂災害など> ・発表を終えるごとに、疑問点について質問させる。 【個】発表を苦手とする生徒には、話し方の資料を配っておき、発表がスムーズになるようにする。(ロイロノート)		
	終末	4. 意見を交流しながら、発表に向けてロイロノートにまとめる。(班)	・集めた情報を整理させ、発表したい自然災害の箇所を一つ決めさせる。 ・聞き手が納得する理由を書かせる。 ・理由を悩む班には、テキストやハザードマップを用いて理由を探するなど助言する。 (生徒が理由に用いると考えられる資料) <テキストの各種自然災害の特徴> <豊後高田市ハザードマップ>・洪水・土砂・津波・ため池など <大分県豊後高田土木事務所防災情報ポータル>		
5. 本時のふり返りをする。		【振り返り】友だちと意見を交流することで、通学路の自然災害が起こりそうな箇所について、新しく知ることができた。			
		・振り返りシートを書かせる。			